

自己評価報告書

平成23年3月31日現在

機関番号：32621

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2012

課題番号：20330017

研究課題名（和文） 日本民法典財産法編の改正に向けた立法論的研究

研究課題名（英文） A Legislative Proposal of Overall Amendment of the Japanese Civil Code

研究代表者

加藤 雅信（KATO MASANOBU）

上智大学・大学院法学研究科・教授

研究者番号：70009819

研究分野：民法改正、民法一般、法人類学

科研費の分科・細目：法学・民事法学

キーワード：民事法学、民法、改正、財産法、債権法改正

1. 研究計画の概要

日本民法典の財産法部分の改正提案を行うこと。

2. 研究の進捗状況

数回にわたるシンポジウムを開催し、条文案の提案も3次にわたって行い、最終案として、『民法改正 国民・法曹・学界有志案』をすでに公表済みである。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

4. 今後の研究の推進方策

立法理由書を完成させ、出版すること。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計43件）

1. 加藤雅信「民法典はどこに行くのか(1)～(5)」

法律時報82巻9号～83巻3号(2010～2011年)
日本評論社, 査読なし

2. 加藤雅信「民法改正の動きに寄せて～民法制定の歴史を振り返りながら～」NIBEN Frontier 2010年4月号32～45頁, 査読なし

3. 加藤雅信、芦野邦和、中野邦保、伊藤栄寿「『民法改正国民シンポジウム：「民法改正 国民・法曹・学界有志案」の提示のために』を終えて 上・下」法律時報82巻2号、3号, 査読なし

4. 加藤雅信、平林美紀、宮下修一、橋本陽介「『民法改正学際シンポジウム 民法と他法の対話——学際的民法改正のために』を終えて」法律時報82巻1号, 査読なし

5. 加藤雅信「『日本民法改正試案・仮案（平成21年1月1日案）』の提示」判例タイムズ1281号（2009年）5～38頁, 査読なし

〔学会発表〕（計9件）

1. 加藤雅信「日本民法改正の現状と今後の展望」中日民商法研究会2010年大会(第9回)（2010年9月11日、12日）（於：中国煙台）

2. 加藤雅信、磯村保、岡孝、松岡久和、五十川直行、中野邦保「民法改正日韓共同シンポジウム——“よりよい民法典を目指し

て”・両国民法総則編の検討」韓国民事法学会(2009年11月14日、15日)(於:ソウル大学)

3. 加藤雅信、磯村保、松岡久和、渡辺達徳、五十川直行、大塚直「民法改正学際シンポジウム:民法と他法との対話—学際的民法改正のために」(2009年10月4日)(於:上智大学)

4. 加藤 雅信、岡 孝、野澤 正充、松岡 久和、山野目 章夫、大塚 直民、民法改正研究会「日本民法典財産法編の改正」日本私法学会第72回シンポジウム(2008年10月13日)(於:名古屋大学)

5. 民法改正研究会「民法改正国際シンポジウム—日本・ヨーロッパ・アジアの改正動向比較研究」(2008年3月1日、2日)(於:上智大学)

〔図書〕(計4件)

1. 加藤雅信『民法(債権法)改正—民法典はどこに行くのか』(日本評論社、2011年)全345頁

2. 民法改正研究会『民法改正 国民・法曹・学界有志案』(日本評論社、2010年)全239頁

3. 民法改正研究会『民法改正と世界の民法典』(信山社、2009年)全665頁

4. 民法改正研究会『日本民法改正試案(平成20年10月13日案)』(民法改正研究会・仮案)(有斐閣、2008年)全205頁、私法学会限定発売品